

新製品「ZESTA/軒天・ケイカル」が 2026 年度グッドデザイン賞を受賞 排ガス CO2 を資源化し、製品に固定化

神島化学工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表：布川 明、以下「神島化学」）の「ZESTA/軒天・ケイカル」（以下「ZESTA」）が、このたび 2026 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

ZESTA は、2024 年にグッドデザイン・ベスト 100 を受賞した、工場排ガスに含まれる低濃度の CO2 をそのまま原料化する当社独自の「CO2 リサイクル製造システム」による世界初^{*}の量産建材製品です。

本製品は 2026 年 11 月に発刊される「内・外装材製品カタログ」より掲載予定です。

神島化学では ZESTA の普及促進によって、CO2 ゼロに向けた取り組みをさらに進めてまいります。

*2026 年 5 月 18 日当社調べ。論文検索、ニュース情報、専門家へのヒアリングによる。

<受賞概要>

□受賞対象名：ZESTA/軒天・ケイカル

□**受賞対象の概要**：製造時に発生した排ガス CO2 を回収し、アルカリ廃棄物を反応させ炭酸塩を原料に用いた CO2 リサイクルケイ酸カルシウム板(ZESTA /ケイカル)。これを基材として意匠を施した軒天(ZESTA / 軒天)。

□**グッドデザイン賞審査員による評価コメント**：CO2 削減は世界的な課題として認識されているものの、実際の取り組みには困難が多い。本製品の基盤となる製造プロセスは 2024 年のグッドデザイン賞でベスト 100 に選ばれているが、その最初の製品化である軒天井ボードは、CO2 リサイクル製品の社会実装として高く評価できる。意匠面でも従来の同種の製品と遜色なく置き換えが可能である。製品や製造工程のゼロ CO2 に向けた現実的なヴィジョンを定め、着実に前進していることの意義は大きい。



2026 年 10 月 31 日（土）～11 月 4 日（水）に開催される「2026 年度グッドデザイン賞」の全受賞対象を紹介するイベント「GOOD DESIGN EXHIBITION 2026」にて展示します。



グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957 年創設の、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨のしくみです。製品、建築、サービス、システム、地域の取り組みなど、有形無形を問わず、さまざまなものごとを対象としています。受賞のシンボル「G マーク」は、よいデザインを社会に広げるマークとして親しまれています。2026 年度は第 70 回の節目にあたります。

<https://www.g-mark.org/>

1. 自社製造工程で発生した排ガス CO2 を回収・再利用した原料で製造する世界初の量産 CO2 リサイクル建材。
2. シリーズ新製品ではコンクリートの質感を持ったデザインによりモダンな生活環境と持続可能性の両立を実現。
3. 製品ライフ全体で固定化した CO2 の再放出は無い。無機物で、廃棄埋立時も分解せず CO2 の再放出がない。



ZESTA/軒天 新デザイン「アルテザート コンクリート」

ZESTA 紹介動画 : <https://youtu.be/r78putr00dg>

回収した CO2 を建物に活用して都市に貯蔵する。そして再び大気中に戻さない。

CCUS Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage
CO2 を回収して、資源として建築物などに活用・貯蔵する

神島化学の取り組み



社会への広がり



このプレスリリースに関するお問い合わせ先

神島化学工業株式会社 CCU 事務局 E-mail : ccu@konoshima.co.jp